

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	3 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	7 人	2 人		10 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5 人	5 人			10 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7 人	3 人			10 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5 人	5 人			10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始後はミーティング内で情報を共有することが出来ている ・連絡帳の活用・送迎や通いサービス利用を通じて積極的にお話しをすることで馴染みの関係を作ることによって情報収集をすることが出来ている。また、それらの情報をスタッフで共有をしてケアに活かすことが出来ている。 ・初期支援において、訪問対応を通して利用者との関係作りを行い、通い利用にも繋がった事例がある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・書類や定期ミーティングの中で新規の方の情報を共有するように努めているが、急遽サービス利用が決まった際に臨時で MT を業務内で開催することが難しく実施が出来ない現状がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・事業所内の業務整理を行う事で、緊急ミーティングを開催することができる事業所体制を構築する。 ・必要に応じて、介護職員も初期面談に介入をすることでご利用者様・ご家族様双方の全体像を事業所全体として把握することが出来るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	3 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		8 人	2 人		10 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		10 人			10 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2 人	7 人	1 人		10 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	6 人	3 人		1 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりの中で、「～したい」個々の要望を確認して、外出レクや日々のレクリエーションに活かすことが出来ている。 ・実践内容に関しての振り返りはミーティングで行うことが出来ている。 ・本人との会話、動作・表情等を観察し、その中から「～したいこと」「興味のあること」を引き出そうとする関わりを意識しながら行うことが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・目標の達成には、ご家族様の援助も必要不可欠だが、理解や協力を得ることが難しい場合がある。 ・意欲低下が著しい方の目標や「～したい」が不明瞭であり、潜在的にあるご本人の「～したいこと」が何か、確信できないため。 ・「～したい」の背景がご家族一存の要望だったりすることもある。 ・時間や予算、人員の都合でご本人のしたいことが出来ない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・自己実現に向けて、ご家族様とも情報を共有しながら、ご本人の「～したい」こと、ご家族様の思いも含めて達成することが出来るように対応をしていく。 ・少しでも要望を達成することが出来るように事業所体制も含めて検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
3. 日常生活の支援	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1 人	5 人	3 人	1 人	10 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8 人	2 人			10 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1 人	9 人			10 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9 人	1 人			10 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8 人	2 人			10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調や気持ちの変化、また普段と違う様子が見られた場合は経過記録に情報を残すことが出来ている。また、業務内の申し送り時やミーティング内で情報を共有することで対応策を検討することが出来ている。 ・ご本人様の気持ちや身体状況に合わせた適切な身体介護を実践することが出来ている。 ・来所時のバイタル測定や温度板の活用により、日々の体調の確認をすることが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・実際には大まかな生活状況がしか把握出来ていない場合があり、ご家族様がケアに対して積極的では無い場合やご本人様とご家族様のコミュニケーションがうまく図れていない場合がある。 ・「以前の暮らし方」を知る情報が対象の方によって情報源に差異があるため、以前の生活を把握出来ていない方もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ご家族様の介護負担の軽減を行いながら、出来る範囲で協力を得ることで、ご本人様・ご家族様双方が望む生活を継続することが出来るように対応していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4 人	6 人			10 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1 人	3 人	6 人		10 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3 人	4 人	3 人		10 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1 人		6 人	3 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人様のお話しや、ご家族様とは連絡帳や送迎の機会を活用して、大まかにご自宅での生活状況を把握することが出来ている。 ・過去にご家族からの虐待ケースが疑われた事例があり、その際は地域包括支援センターへ情報提供を行い、解決に至った経緯がある。また、必要に応じて独居高齢者については、民生委員と協力することで、サービス利用以外の状況を把握して対応をすることが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所全体として社会資源の認識・活用方法の知識不足。 ・お祭りなどの地域行事に参加をすることは出来ているが、他に触れ合う機会は少ない。 ・ご利用者様が地域との関わりについて、率直にどう感じているのか把握出来ていない場合があり、事業所としてどのように働きかければ良いのか分からないため。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ご本人様・ご家族様から今までの生活状況や地域との関わりの部分の情報収集を行い、必要に応じて活動参加をすることが出来るように対応していく。 ・事業所内でミーティングを通して社会資源への理解や役割を深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2 人	4 人	4 人		10 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		8 人	2 人		10 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7 人	3 人			10 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6 人	3 人	1 人		10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりの中で、ご本人様の変化に気づき、毎日の申し送りやミーティング内で情報を共有することが出来ており、その方のニーズに合った支援を日々のケアの中で柔軟に実践することが出来ている。 ・必要に応じて、地域資源（配食サービス・SOS ネットワーク）の情報提供を行い、活用することが出来ている。 ・泊まりや通いの対応については、多様なニーズに応じて個別に実践することが出来ている。また、安否確認や送迎時の火の元確認等、訪問サービスを通じて細かい点も柔軟に対応することが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の認識不足により、地域資源を活用した柔軟なサービス提供が出来ていない。 ・ご本人様・ご家族様の状況把握の結果、必要なサービス調整を行うが、ご本人様・ご家族様双方のニーズの違いにより、バランスのとれたサービス提供をすることが難しい場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域資源の理解を深め情報提供をすることで、必要な支援のために事業所の自ら持てる機能と地域にある機能を組み合わせることで柔軟なサービス提供をすることが出来るように対応していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
6. 連携・協働	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	3 人	2 人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	5 人	1 人	1 人	3 人	10 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4 人		6 人	10 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1 人	4 人	2 人	3 人	10 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1 人		7 人	2 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・担当者会議を通じて、その他サービス機関 (医療機関・福祉用具貸与・訪問看護) と情報を共有することが出来ている。また、通所連絡協議会や地域包括支援センター主催の研修参加をすることで、他事業所との情報を共有することが出来ている。 ・地域行事 (お祭り・ゴミ拾い・ふれあい交流会) などの活動参加、ボランティア (幼稚園児との交流・コーラス隊) と交流をすることが出来ている。 ・各機関 (医療機関・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター) へこまちの郷の情報提供をすることで相談ケースが増加傾向にある。また、緊急的な受け入れ対応の相談件数も増えている。 ・広報誌・ホームページを活用することで、事業所内の取り組みを情報発信することが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域住民の方と接することが少なく、挨拶をする程度で、地域の方にとって気軽に立ち寄れる関係作りをすることが出来ていない。 ・地域でどのような行事があるのか把握出来ていないため。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域行事の把握を行い、積極的に活動参加をすることで地域の方達と関係作りをしていく。 ・広報誌やホームページを活用することで、情報発信をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
7. 運営	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3 人	5 人	1 人	1 人	10 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2 人	8 人			10 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 人	2 人	6 人	1 人	10 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1 人		6 人	3 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者様・ご家族様から苦情・事故があった際には事後対応を適切に行うことが出来ている。内容に関しては書面に残すことで事業所内にて再発防止を含めた協議をすることが出来ている。 ・ご利用者様の状況に合わせて支援を実践するために、どういった業務の流れが良いのか話し合うことが出来る。また、職員配置の意見についても管理者と確認することが出来ている。 ・運営推進会議を定期的に開催し、他機関や地域住民、ご利用者様、ご家族様の意見を反映するだけでなく、アンケートを通じて、実習生や施設を訪れる方の意見を要所に取り入れることが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の行事には参加することが出来ているが、その中で積極的な交流が図れていないため、地域と協働した取り組みが実践するまでには至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域の実情を把握して、事業所として介入することが出来るように、地域行事への参加や広報活動を実践していくことで地域の方達の事業所への理解や信頼関係を築くことが出来るように対応していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3 人	5 人	2 人		10 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4 人	3 人	3 人		10 人
③	地域連絡会に参加していますか	3 人		3 人	4 人	10 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7 人	3 人			10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・リスクマネジメントについては、ひやりはっと・インシデントとして書面に残すことで再発防止に取り組むことが出来ている。 ・法人内外問わず、各種研修会や研究発表会など参加をする機会が多く、自己啓発をすることが出来る。 ・スキルアップのため、必要な資格取得をすることが出来ており、資格取得に向けて施設内・グループ内で勉強会を提供をすることが出来ている。また、個人としても年間の個人目標を定め取り組むことが出来ている。 ・地域連絡会 (通所連絡協議会・ケアマネ連絡協議会) 主催の研修会に必要なに応じて参加をすることが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の欠員状況が続き、積極的な外部研修への参加が難しかった。 ・研修が多数実施されている反面、研修内容がマンネリ化している。 ・内部研修については、勤務終了後に開催されることが、ほとんどであり、私用によって参加をすることが難しい職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・各種研修内容の情報収集を行い、事業所として必要な研修に参加をすることが出来るようにしていく。 ・必要な情報については、事業所内で閲覧をすることで情報を共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 7 月 21 日 (16 : 00～17 : 30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者 (1 名) 看護師 (1 名) 介護職員 (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	2 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10 人				10 人
②	虐待は行われていない	10 人				10 人
③	プライバシーが守られている	9 人	1 人			10 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1 人	4 人	2 人	3 人	10 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8 人	2 人			10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束・虐待は行われていない。 ・個人情報の取り扱いは慎重に行い、個人名が明記されている物、特定できるものは放置せず、破棄する場合はシュレッターにかけ管理している。 ・家庭的な雰囲気を大切に空間作りが実践されており、羞恥心やプライバシーへの配慮に留意出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・同時に多数のご利用者様が行動を始め、その時間帯に人手が足りない場合に「ちょっと待ってください」と口にすることがあるため。 ・ご利用者様の安全を最優先にするために、突発的な対応に追われることがある。そのときに、記録物を出しっぱなしになってしまうことがある。 ・成年後見制度への理解が低く、制度利用の提案や意見をすることが出来ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・事業所として成年後見制度への理解を深めていく。	